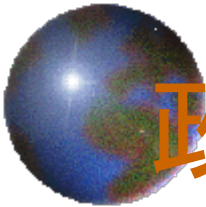




カルタヘナ



# ICANNカルタヘナ会合 政府諮問委員会(GAC)報告 (2010年12月4日～8日)

2011年1月27日  
総務省 データ通信課 企画官  
中沢 淳一



## 政府諮問委員会(GAC)の概要(1)

### ● GACの活動

- ICANNの活動に関し、次の事項について政府の立場から検討、ICANN理事会に対して助言
  - － 公共政策課題に関する事項
  - － ICANNポリシーと各国国内法、国際協定との間で相互に関係がある事項
- ICANNの理事会はポリシーの制定、採択においてGACの助言をしかるべく考慮しなければならない

### ● GACメンバー構成と参加状況

- 現在、107の国・地域の政府及び15国際機関(オブザーバ)で構成
- 今会合には38の国・地域の政府、4国際機関が参加
- 日本からは総務省が代表として参加



## 政府諮問委員会(GAC)の概要(2)

### ● 今会合での主要議題

- (1) 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)の導入について
- (2) GACの役割について
- (3) .xxxについて
- (4) その他



## GAC会合の結果概要(1)

### (1) 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)の導入について

- 今回のGAC会合では、申請者ガイドブック案最終版(2010年11月12日に公表、12月9日までパブコメ募集)について議論。
- ・ 申請者ガイドブック案最終版のパブコメ等について十分な検討がないまま今会合で承認するのは問題である
- ・ これまでの理事会の決定について合理的な説明がない
- ・ 政府による異議申立てのコストや申請文字列のレビュー手続きを含めて様々な未解決の課題がある

等の指摘がなされ、GACコミュニケに盛り込んだ。

- また、GACとして、それぞれの課題の詳細を取りまとめて、早期に理事会に提示することとした。

#### <理事会による決定と今後のスケジュール>

- 理事会としては、今会合で申請者ガイドブックを承認し、5月30日より申請受付を開始する予定としていたが、GACの助言等が考慮され、今会合での申請者ガイドブックの承認は見送られた。
- また、未解決の課題について議論するため、2011年2月に理事会とGACとの中間会合を開催することとなった。



## GAC会合の結果概要(2)

### (1) 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)の導入について(続き)

#### 新gTLD申請者ガイドブック案における課題(GACコミュニケより)

- 異議申立て手続き(政府による異議申立てコストの支払いを含む)
- 宗教・民族・言語・文化等に関わる文字列のレビュー手続き(申請者に対する早期の注意喚起を含む)
- ルートゾーンの拡張
- 市場と経済への影響
- レジストリ・レジストラ分離
- 商標権の保護
- 地理的名称の使用と保護(委任後に生じた問題への対応を含む)
- 申請者の法的手段



## GAC会合の結果概要(3)

### (2) GACの役割について

- 現在、ICANN内において、GACの役割、その効果の向上策について、議論が進められている。

#### 説明責任・透明性レビューチーム(ATRT)

- 2010年4月に立ち上げられ、11月に勧告案が公表。
- 今会合では、GACとATRTとの合同会合がもたれ、勧告案について議論。GACとしては、勧告案について総じて歓迎するという見解で一致。このほか、勧告の実施において、GACと理事会との連携、スケジュールの明確化が重要である等の意見が出された。
- 2010年12月末に勧告最終版が公表。

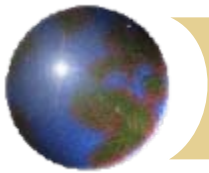
- 米国商務省とICANNとの合意“AoC”<sup>※</sup>に基づき、ICANNのグローバルな説明責任と透明性の向上を図ることを目的にICANN活動のレビューを行うチーム。
- ICANNのSO/AC等から選出された15人で構成。 ※AoC: Affirmation of commitments

#### 理事会とGACの合同ワーキンググループ(JWG)

- 2009年6月のシドニー会合で設置が承認され、GACの役割に関し、①ICANN理事会へのGAC助言の在り方、②ICANN内の支持組織・諮問委員会(SO/AC)との連携、③GAC活動への支援等について議論。
- 今会合では、前回会合に引き続き、GAC助言の在り方(今回は特に少数意見の取扱い)、SO/ACとの連携(特にGACリエゾンの役割)について議論されたほか、途上国への旅費支援の拡充等について議論された。
- 次回会合(2011年3月)で、ATRTの勧告に対する具体策を含む報告書が取りまとめられる予定。

#### 「GAC運用原則」(GACの内部規則)の見直し

- GAC運用原則と現状の運用との間に乖離が生じていること等から、2010年3月のナイロビ会合から、本原則の改正の検討が進められている。
- 今会合では、GAC運用原則について定期的に見直していくべきことが合意されたほか、ATRTやJWGにおける議論も踏まえてGACリエゾンなどGACの役割を明確に規定する必要がある等の意見が出された。
- ATRTの勧告、JWGの報告書を踏まえ、次回会合で改正案が取りまとめられる予定。



## GAC会合の結果概要(4)

### (2) GACの役割について(続き)

#### ATRT最終勧告における主なGAC関連部分の概要

##### ～GACの役割と効果及び理事会との連携～

※JWG: 理事会とGACの合同ワーキンググループ

- 理事会は、**GACの「助言(advice)」が何によって構成されるのかを明確化**すべき(JWGを通じて、2011年3月までに)。
- 理事会は、**GACに助言を求めるためのより公式なプロセスを確立**すべき(JWGを通じて、2011年3月までに)。この確立において、ICANNは、GACへの要求、GACからの助言、その検討や回答を文書化する**オンラインツールやデータベース**を開発すべき。
- 理事会とGACは、GAC助言がよりタイムリーに提供され、検討されるように協力**すべき。**理事会がGAC助言に回答するためのより公式なプロセスを確立**すべき(JWGを通じて、2011年3月までに)。  
(このプロセスで、いつどのように、GAC助言への同意/不同意を通知したり、不同意の場合にGACに提供する詳細事項を特定するかを設定。GACが年3回しか会合をもたないことも考慮。)
- 理事会は、**GACがポリシー開発に早期に関与できるためのプロセス**を開発、実施すべき。
- 理事会とGACは、ICANNのポリシー課題についての**GACへの十分な情報提供**や、**GACの懸念に対するICANNスタッフの認識向上**のための行動を開発、実施すべき。  
(例えば、ICANNスタッフのGACへのサポートの役割の創設・見直し、理事会・GAC合同会合の頻度を上げるメリットについての検討)
- 理事会は、**GACへの政府のサポートとコミットメントのレベルを高める**ように努力すべき。  
(GACのメンバー国・機関への参加奨励、多言語アクセスに配慮した途上国の関与向上への注力)



## GAC会合の結果概要(5)

### (3) .xxxについて

#### ○ ブリュッセル会合(2010年6月)

- 理事会は、.xxxのレジストリ契約については、過去のGAC助言と整合しているかどうか判断し、整合していない場合はBylawsに従ってGACに照会した上で契約を承認するかどうか決定する、と決議。

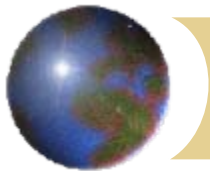
#### ○ 理事会(2010年10月)

- 理事会は、.xxxのレジストリ契約案は過去のGAC助言と整合していない可能性がある判断し、GACに照会を行った。

#### ● カルタヘナ会合(2010年12月)

- GACは、理事会からの照会は、Bylawsで求められている照会手続きに当たらないとの見解。(Bylawsでは、理事会がGAC助言と整合しない行動をとるとした場合は、GACに照会を行うべきと規定。)
- 理事会は、GACへの照会と助言を踏まえて.xxxのレジストリ契約を締結する、と決議。また、Bylawsに従った照会手続きを作成して、2011年2月にGACと議論することとした。





## GAC会合の結果概要(6)

### (4) その他

- GAC議長(任期2年)

Heather Dryden 氏 (カナダ) 留任(現暫定議長)

- GAC副議長(任期1年)

Alice Munyua 氏 (ケニア) 新任

Maria Hall 氏 (スウェーデン) 新任

が選出された。いずれも、次回会合の終了後、交代となる。



## 理事会・GAC中間会合について

- 新gTLDに関する諸課題について、理事会とGACの意見の相違点、解決策等を議論するため、カルタヘナ会合最終日の理事会の決議に従い、理事会・GAC中間会合が開催される。
- 会期等は以下のとおり。

・会期:2011年2月28日(月)～3月1日(火)

・場所:ブリュッセル

※ 会合は公開で行われる。